

「無料・低額診療」を、あらためて取り組もうと職員と友の会で話しあった。かかった費用を国は補ってくれない。税金などの免除にすぎず、勤医協では実質持ち出し。これからコロナウイルス・ワクチン対応、患者数の減少など診療所自体の業務も追われている。それでも今、それに向き合うことが、私たち先輩の初心であり「仕事の根っこ」だから。「命は平等」。コロナ禍、手の届かないところでSOSを出している人たちに、今できることをつなげたい。それが、私たちの仕事だから。そしてそのDNAを若い人たちにつなげたい。新芽め吹くこの春に。

いのちと健康を守りたい

…SOSに気付いたら

～私たちは無料・低額診療事業（無低診）を実施しています～

忘れられない旅立ち

—— 坂井輪診療所事務長 石井 ゆう

数年前、以前勤務していた診療所で関わった方の患者さんのことです。20代の大学生。「大学の医務室の先生から無低診のことを聞いてきました」と診療所に来られました。お話を聞くと数か月前から続く咳、そのため不眠もあるという状況。家庭の事情があり、学費や生活費を自分で工面。学業とアルバイトを両立させ生活を維持していました。バイト代が入ると市販の咳止めを買うものの、改善は一時的。医者にかかりたかったけど保険証が手元がない（家庭の事情関連で）。とても医療費が払えないだろうと受診を諦めていたそうです。

診療所で無低診を活用し治療開始。数回の通院で症状は落ち着きました。その後も家庭の状況改善や保険証取得についての道を探るもの、そう簡単ではありませんでした。彼女は「今はとにかく体調を整えて資格取得のため国家試験に集中したいです。合格すればきっと自立できるから…」と話されました。

数か月後「国家試験に合格し、就職が決まりました」と連絡がありました。就職先の県外に旅立つ日、夜行バスに向かう途中で診療所に立ち寄ってくれました。

(医)新潟勤労者医療協会 健康友の会



さかいわ健康
ひろはmini

坂井輪総支部

〒950-2054 新潟市西区寺尾東 3-1-19
友の会事務局 ☎・fax 025-269-6682
x-l@sakaiwa_syain@nigata-min.or.jp

知り合いが一人もない土地での新生活。在学中の奨学金や学生ローンの返済も始まります。このか細い身体で大丈夫かな？また具合が悪くなったら？と心配ばかりが頭に浮かびました。でも彼女は「大丈夫です」と穏やかな笑顔を見せてくれました。「何かあったら近くの民医連を訪ねてみてね」とだけ伝え、職員で彼女の旅立ちを見送りました。

診療所で関わったのは短期間でしたが、彼女の人生の大事な時期に、彼女のSOSに気付いてくれた方がいて、医療につながることで次への一歩を踏み出せた。そんな瞬間に出会えたことは、貴重な経験でした。

今、このコロナ禍の中、身近な方たちにも生活の変化があると感じます。「体調が悪い。でも医者は我慢する」という方は静かに増えているのかもしれない。そんな方の拠りどころになれる診療所でありたいと思います。

無料・低額診療事業とは？

■医療費の支払いに困っている方などに、無料または低額で診療を行う事業です。■お体の状態や生活状況をうかがい公的制度の活用を含め、相談に応じます。■詳しくは、診療所ホームページやパンフレット（診療所待合室にもあります）をご覧ください

まずは診療所にお電話ください

五十嵐・上町班で「無料・低額診療」の学習会しました



上町班学習会

3/19 五十嵐支部お茶の間上町班では、10人余集まって、診療所石井事務長から「無料・低額診療事業」について話を聞き、その後NHKの関連番組DVD「病院・我慢します」をみた。参加者から、「無低診」は初めて聞いた/世の中のことが医療から見えてきた/もっと「無低診」のことが知りたい、ほかの人につたえられない~などの声が出せられました。

**3/24 保健委員研修交流集会
坂井輪は内野まちづくりセンターで50人集いました！初任-ト体験！**

~健康とは集まって・動いて・食べて・笑うに納得~



レ-ト会場の様子



ハンドルぐるぐる体操

3/24 (水) 保健委員研修交流集会に坂井輪で50人が参加。新潟大学の村山先生より「健康から考える交通事故《事故に遭わない、起こさない》」のお話しお聞きしました。奥深い「健康づくり」のお話のあと模擬ハンドルで健康体操もしました~以下寄せられた感想です~
 ■SDGs (持続可能目標) という言葉の意味をお聞きし、健康友の会の道すじを照らしているよう。地域で助け合い、医療と一緒に、すすむめられる健康づくりができるといいですね。…健康友の会に参加してよかった/…交通事故防止は健康なカラダづくりからです。少しずつ、はじめようと思います/…もう少し体操を中心にたくさんやってほしい/…これからの医療機関は「地域をつくる！」に納得。友の会は素晴らしいと実感。健康とは集まって・動いて・食べて・笑う その通りだとおもいました。

ボランティア求めてます
あなたのお力を貸し下さい
 「明るい医療」「ひろばmini」など
 ニュースの配布と発送作業
 求めています

4月予定
■14日 (水) 幹事会

**3/27真砂支部：明倫短期大学を会場に
安達先生が「新型コロナウイルス」学習会開催**



安達先生

■真砂支部、安達先生の「新型コロナウイルス」の学習会を開催。明倫短期大学講堂をお借りしました。27人の地域の方が参加して先生のお話を聴きました。感想から~

■初めは難しいと思いましたがウイルスのありよう、コロナの仕組みがわかった気がします。正しい情報、知識を持って判断することの必要性「正しく知って正しく恐れる」ですね。/①ワクチンは自分を守るため②人にうつさないため③地域を守るため ということがよくわかった■またやって下さい。新型コロナウイルスは続くので…/このような集いをもっとやってほしい。

サークルご案内

- 編物 毎週水曜 Pm ボラン茶
- 縫い物 毎週火曜 Am ボラン茶
- 絵手紙 毎月第1・3木曜 Am ボラン茶
- ウクレレ 毎週木曜 14時 ボラン茶
- 地域の茶の間“よってけ亭”
毎月第1・3水曜 Am ボラン茶
- フラダンス毎月第1・3火曜Pm 小田事務所
毎月第2火曜Pm 診療所 2F
- 山の会 低山を平均毎月1回の日帰りの山行
- ダンベル体操/ 会員募集 診療所 2F
毎週月曜 PM7:00